
君の背中を追っている

おこめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君の背中を追っている

【Nコード】

N2672V

【作者名】

おこめ

【あらすじ】

昔と比べると変わるものと変わらないもの、そして変わりたいものがあります。

危なっかしくて見てられない

後先考えず突っ込んで

口より足が先行して

僕たちと対等になろうとして
泣きながら君は笑うんだ

何度止めたか分からない
これだけ君を案じているのに
僕の腕をすり抜けて
君は走り出せる位置にいる

捕まえたいのに止まらない
香りだけを残す君
愛しい背中反らせない

君に向かって伸びた手は
いつだって空を掴んでる
届かないことに苛立つけれど
細い君の肩が揺れて
振り向いて優しく笑うから
その無邪気な姿を腕に抱いて
ずっと一緒にいたいと思う

目が離せない
愛しくって仕方がないんだ

女の子になつてほしい
でも君らしさはやっぱり好き
友達という無難な間
近いか遠いか分からない
曖昧な二人もどかしい
それでも何かが後押しして
目線だけなら通い合う
まだ知らないフリをする僕らだけど
いつか夢から覚めるように
突然に始まる恋がある

何も知らない顔をして
いつものように名前を呼んで
今日も近い
でも少し遠い
近づきたい君の隣
いつかは触れる距離で笑えるように
いつかは僕のものになりますように

そんな願いを秘めてまだ、君の背中を追っている

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2672v/>

君の背中を追っている

2011年10月8日18時10分発行